

全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部からの提言

本日、第4回全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部を開催し、「日本と地域を守る全国知事会宣言」として取りまとめるとともに、以下の点について提言します。

- 政府において、仮に「緊急事態宣言」を検討する場合は、対象地域のことだけでなく、国内の他の地域に与える影響についても十分に考慮したうえで進めること。
- 政府においては、国民の行動変容を促すことに特化した統一的に発信するための「広報チーム」をつくること。
- 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言にある「感染確認地域」の「想定される対応」において、集会等を控えるものとして、屋内で50名以上との基準が示され、全国知事会の提言が反映したものとして評価したい。一方、施設の規模や形態は様々であり、「密度規範」を明確にするなど詳細の取扱を示すこと。
- 新型コロナウイルスの治療薬として期待される、アビガン(ファビピラビル)については、現在、臨床試験が行われているが、事態の収束に向け、可能な限り早急に使用の可否を判断すること。

令和2年4月2日

全国知事会新型コロナウイルス緊急対策本部
本部長 徳島県知事 飯泉 嘉門